

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	東京都立産業技術高等専門学校
	大学等名1(代表大学等)※カナ	トウキョウトリツサンギョウギジュツコウトウセンモンガッコウ
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	ものづくり工学科
	担当教職員名・役職	(平成28年度)品川キャンパス:齋藤博史・深津拓也・深野あずさ・小早川倫広荒川キャンパス:高野邦彦・鈴木拓雄・諏訪正典・斎藤純一
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	231
	受入企業等数	426
	受入企業等名	カデインチェ(株)、行政システム(株)、泰興物産(株)、富士ソフト企画(株)、富士通(株)、MISAWA & WORKSHOP、ANAラインメンテナンステクノクス(株)、東京ガス(株)、三菱ビルテクノサービス(株)、ロシュ・ダイアグノスティックス(株)、国立研究開発法人理化学研究所、国立研究開発法人産業技術研究所、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 など
	インターンシップの分類	5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ、6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ、7.中小企業でのインターンシップ、8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事、2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実社会における就業体験、社会人マナーの修得、課題発見・解決
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している、6.当該インターンシップは、選択科目として実施している、8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	高専本科4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ説明会(ガイドを配布)→事前指導・社会人マナー講座→企業等とのマッチング確認→企業等への申し込み→インターンシップ実施・日報作成→インターンシップ報告書作成→インターンシップ発表会→選択科目単位付与可否判断
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている、2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている、3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている、4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている、2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている、3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等へ赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ参加の意味、志望理由、企業等とのマッチング、実施計画等について学生との面談・指導、企業等との情報交換を実施。また、機密保護の重要性についても説明。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップを実施した個々の学生と面談し、報告書の作成指導・添削、発表会の資料作成指導などを実施。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている、3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ先検索を皮切りにした事前活動から報告会(発表会)までの事後活動までを含めて指導教員が評価する。また、ルーブリックにより、評価指針を学生へ理解させ、教員と共有している。
	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している

要素⑤	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日～15日
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	原則は1人あたり1社での平日5日間実施だが、学生や先方の希望により10日間、15日間もあり。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ受け入れ依頼の承諾を戴いた後、受け入れ先企業等と事前に協議し、実施内容を決めている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途、「インターンシップガイド(平成28年度版)」を提出
問い合わせ先	大学等名	東京都立産業技術高等専門学校
	担当部署名	キャリア支援センター
	担当者役職名	キャリア支援センター長
	担当者氏名	
	電話番号	03-3801-0145
	メールアドレス	okudaira@metro-cit.ac.jp